

会報 ながの

第212号
令和4年夏



長野県土地家屋調査士会



土地家屋調査士倫理綱領

1. 使 命

不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。

2. 公 正

品位を保持し、公正な立場で
誠実に業務を行う。

3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

表紙写真の説明 『里曳きを待つ御柱』

御柱屋敷で里曳きまでの1ヶ月を静養する上社の御柱8本の様子です。この間、前宮、本宮には結界ともいわれる御柱が無く、パワースポットとして多くの方々が訪れるとのこと。
(撮影地 長野県茅野市宮川) 諏訪支部 間島恭子



「スクリーンへの道」

会長 猪飼 健一

第72回定時総会において会員の皆様から全ての議案についてご承認いただきました。あらためてご理解とご協力に感謝申し上げます。事業計画案に従い、令和4年度の事業が本格的にスタートしました。

大きなイベントが終わってホッとしたのも束の間、会報原稿締め切りがあったことを思い出して大汗をかいて何をテーマにするか大いに悩みました。

これまでも夜な夜な自宅のダイニングテーブルで飼い猫に邪魔されながら総会のご挨拶や、ホームページの会長ブログ原稿を執筆する内容は業務関連のことを中心に掲載しており、あまり固いことばかり文章にしても、つまらない人間だと思われてもと無言で反省し（…いや元々つまらないじゃないのとの台所からの突っ込みが聞こえてくる…）、そうは言ってもウケを狙ってボケても、すべるだけなので日常のありきたりの話題を取り上げることにします。

その前に一つだけつまらない話を。（失礼）

長野市で開催しました定時総会はYouTubeを使用した同時中継を初めて試みました。会員研修会でもネットを活用しましたが、コロナ禍等で会場にお越しになれない方にはこの時代に即した我々の情報伝達の義務を果たせたのではないかと考えています。

初めての試みでしたので、うまく映像が中継できるか不安でしたが、「株式会社いとう」様のご協力で順調に配信できたようです。当日私

は役員席にいましたが、隣の席でモニター代わりで見ている者もありました。今後も通常開催の折にも来場が適わない会員向けにネット配信を継続できたらと感じました。ご覧になられた方からの感想を是非お聞かせください。

このようなWebを介した手段は研修や総会など物理的距離をなくし、時間と費用を節約する便利なツールとして非常に有効活用できるのですが、最近では自宅の大型テレビでもネット動画を観られることからYouTube鑑賞も個人の趣味と興味のある旅行、料理、車、猫動画などを好んで観ています。その中でもストレスが溜まったときはドローンで撮影された世界各地の4Kの風景動画や、旅客機のcockpitから撮影された空港の発着陸動画も好んで観て癒やされています。（これはオススメです）

最近では土地家屋調査士YouTuberが増えてきて、業務の話しや現実的な収入、試験対策など我々に身近な情報もあって興味深いですが、珍しいものとしては国際宇宙ステーション（ISS）からのライブ映像が常時中継されており、幻想的な宇宙空間や地図と同じ地上の陸地の地形が詳細に確認でき、自宅にしながら「どこでもドア」を味わっています。すごい時代になったなと痛感します。

サブスクリプション（有料定額契約）が流行の時代ですので、テレビ番組の再放送や映画も新作以外は自宅ですべて観ることができ便利

な世の中ですが、先日久しぶりに映画館に出向
きレイトショーを観てきました。

千葉県香取市職員が伊能忠敬をテーマに
NHKの大河ドラマを作成しようと奮闘する「大
河への道」という映画です。

ネタバレになるのでストーリーの紹介は避け
ますが、会報が発行されるころには上映が終了
しているかもしれません。機会があれば是非ご
覧いただきたい作品です。

原作は落語家の立川志の輔で自身の落語から
脚本が起こされました。

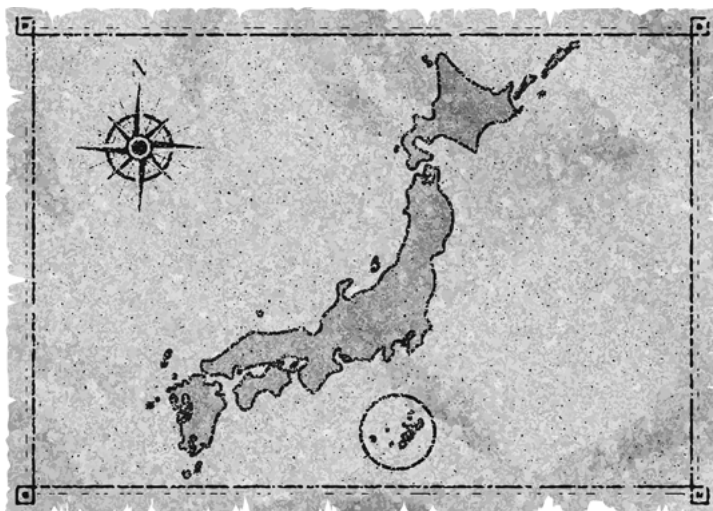
主演は中井貴一、ほか松山ケンイチ、北川景
子、西村まさ彦、橋爪功等配役だけでも笑いと
期待感が高まりますが、劇中の現代と江戸時代
の同時進行、それぞれの時代に一人二役という
斬新な進行が楽しくスクリーンの中に引き込ま
れていきます。

伊能大図と言われる地図の作成過程を再現し
ている測量風景や作図場面はリアルで非常に繊
細な作業であり、クライマックスの場面で江戸
城大広間に展開された大図は鳥肌が立つほど壮
観なものです。

奇妙なことに伊能忠敬本人は一切登場しない
のですが、ドキュメント映画ではないので全く
気にならず非常に楽しい時間を過ごすことが出
来ました。

何でもありのYouTubeは脚本もなく、バラ
エティに富んで、その瞬間は観ていて楽しいも
のですが、心に残る感動は映画でないと得られ
ないものだと再認識したのです。

そのほか「太陽とボレロ」、「流浪の月」など
最近、長野県でロケをした映画も多く、洋画し
か観なかった方針を転換して邦画の良さを見つ
め直そうかと思い始めました。



表彰者挨拶

東京法務局長表彰を受賞して

飯田支部 城 子 廣 志

この度、東京法務局長表彰を賜り光栄に思います。ありがとうございます。

今年、令和4年は国連常任理事国である大ロシアが、隣国ウクライナを侵攻、国際法を無視して、民間人の虐殺、集団レイプ、果ては原発、学校への爆撃という残酷な戦争犯罪をしながら、ロシア国民には隠し、侵略を正当化し、見るに堪えない年になりました。

戦争と言うのは、こんなに惨く、築き上げてきた平和の国を一瞬にして破壊してしまうのを目の当たりにし、ロシアの蛮行に多く民から怒りが発信されました。

今更ながら平和の大切さを感じます。

今も多くの人が犠牲になっているこの時の受賞に、聊か後ろめたさを感じます。

私は昭和50年、縁あって静岡会に入会しました。当時は会の登録は法務局でおこなってありました。登録時には私の外に1人おり、この彼が初対面でしたが、彼から「私は司法書士事務所を開いているから、土地の調査・測量・申請業務は君がやってもらいたい」と依頼を受け、

以来タックを組んで業務を開始しました。

折しも右肩上がりの経済発展と重なり、業務開始から忙しい毎日が始まりました。

縁と言うものは大変ありがたく、又大切にしたいものと思いました。

10年近くの静岡会での業務を終え、高齢の親の面倒のため地元に戻り、昭和58年に長野会に入会、以来、地域の皆さま、又、会の多くの皆さまに御世話になり、今日までやり遂げることができ八十路を迎えました。

私の地域には若い会員がいない為、高校の先生や、子を持つ親等に資格取得を促してきましたが、未だ皆無なのが大変残念です。



東京法務局長表彰を受賞して

松本支部 石 田 知 之

第74回長野県土地家屋調査士会定時総会におきまして、図らずとも、東京法務局長賞を授与致しました。これもひとえに皆様のご指導ご鞭撻の賜と深く感謝申し上げます。

私は、平成8年開業ですが、この26年間、司法制度改革、東日本大震災、リーマンショック、タリバンによる原油高騰、格差社会、少子化、コロナ禍、そしてまさに今、ロシアのウクライ

ナ侵攻による円安、株価安、そして、インフレ、ひと時も心休まる時は無かったと思います。

この変革、変貌を遂げる社会で、土地家屋調査士としての役割が世に課せられ、専門的な知識を活用する場面が増えていることに緊張と責任そして、さらなる研鑽を積むことの重要性を感じます。

そして、この土地家屋調査士制度を支えられてこられた諸先輩方のご尽力に本当に頭が下が

る思いです。

末筆ではございますが、今後も精進してまいりますので、皆様の変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

この度は、誠にありがとうございました。



長野地方法務局長表彰を受賞して

諏訪支部 河 西 美智与

この度、本年度の長野県土地家屋調査士会定時総会式典におきまして、長野地方法務局長表彰を賜り大変光栄に思います。これまでもお世話になりました皆様方のご指導の賜物と感謝し心よりお礼申し上げます。まだまだ新型コロナウイルスの影響下でしたが式典にて表彰していただきまして嬉しく感謝いたします。

平成9年に登録して、私の調査士人生も25年となりました。この業務はすべて案件内容が違いますから、常に「初心忘れるべからず」と新人のつもりでおりましたが、仕事と家庭と子育てと一人で三役をこなしながら今日までよくやってこられたと感慨深く思います。

私が調査士になりたての頃は女性の調査士が珍しいのか相手にされないことがありましたが、今は女性調査士も増えてきてご活躍されていますので大変頼もしく思います。

調査士業務は何年経験しても難しいとつくづく感じます。それは調査士諸先輩の業績を目の当たりにし、私が提出した地積測量図等の図面が法務局に保存されていると思うと調査士業務

の職責の重圧を感じます。今でも土地の境界立会当日の朝は神棚に手を合わせています。それに、夢の中ではネットで調べてきた権利だけを一方的に主張する理不尽な立会人と闘ったりもします（笑）

私は調査士二代目ですが、父の代より事務所のモットーは「親切に、正確に、迅速に」です。これは守り続けねばと肝に銘じております。また、私の座右の銘は「ずくを出す」です。老眼が進みハズキルーペが手放せなくなっていましたので、この先何年調査士を続けられるかと少し気弱になっていますが、この受賞を励みに、これからの時代の流れに取り残されないよ



う、毎日ずくを出して、出来ることをコツコツと地道に頑張っていきたいと思います。

日本土地家屋調査士会連合会長表彰を受賞して

長野支部 北 澤 正 夫

この度、この様な栄えある賞を授与されまして、受賞者として身に余る光栄であり、心より感謝申し上げます。

私はこの業界に入って43年が経ちました。この業界に入ったきっかけは、測量学校時代の先輩が土地家屋調査士の勉強をしているということを知り、興味を持ったことです。PCやインターネットがなかった当時、先輩は測量専門学校に通いながら、東京の4畳半のアパートを借りて、毎日数十枚の書式を書く勉強漬けの生活を送っていました。測量士として働いていた自分は、スキルを活かしつつも新しいことに挑戦したいという思いから、先輩と同じように東京で受験生活を送り、どうにか調査士になることが出来ました。

それから、多くの調査士業務を経験してきま

したが、いまだに土地の境界立会・境界確定には苦勞する日々です。幸いなことに、健康でいながら、お客や同業者の先輩・後輩に恵まれて、ここまでやって来ることができました。

今回の受賞を契機に土地家屋調査士制度・会の発展に微力ながら協力して行きたいと思いますので皆様のご指導を宜しく願います。

昨今の長引くコロナ禍の中、会員の皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。



長野県土地家屋調査士会長表彰を受賞して

長野支部 小 坂 欣 三

この度は、長野県土地家屋調査士会長表彰を頂きまして、大変身に余る光栄でございます。まずは、長野県土地家屋調査士会定時総会及び式典に向けての準備から開催まで携われました執行部の皆様、また、会長をはじめとする役員の皆様、大変お疲れ様でした。誠にありがとうございました。深く御礼申し上げます。

この新型コロナウイルスの影響を受け、皆が集まりひざを交え、いつものように普通に会を開くことができなくなり、はや2年と半年が経ちました。中国河北省武漢市から発生したウイルスが瞬く間に世界に広がり、日本は島国という利点を生かすことなく甚大な被害と影響を受けています。毎年普通に行われていたことがで

きなくなり、知らぬ間にストレスが生じ、また、実生活にどれほど影響をもたらしたのか計り知れません。何でこんなことになってしまったのか…と、そんな思いが正直あります。しかし、今はそんなことを思う時期は過ぎ、この状況の中、何ができ何をすべきかを考え行動に移し、頭を使い乗り越えていかなければいけないと日々自分に言い聞かせております。世間ではウイルスに対する対処法もわかってきて、だんだん元の生活に戻りつつあると思いますが、元の普通の生活通りに過ごすには油断できない状況は変わらず続いております。また、世界ではロシアが戦争をはじめてしまい、大変憂うべき事態が生じており何とかならないものかと心が痛んでおります。

今年で50歳を迎え身体の調子も以前のようにはいかなくなると日々、実感しており、一層

心が晴れない感じでございました。そんな折、長野県土地家屋調査士会長表彰を頂くことができ、久々に心が晴れやかになりました。弱い自分と向き合い自分に負けずに調査士会や社会に少しでも貢献できるように、周りへの感謝を忘ることなく日々研鑽してまいります。この度は、このようなありがたい表彰を頂き、また、自分を見つめる機会を頂き誠にありがとうございました。心より深く感謝申し上げます。



長野県土地家屋調査士会長表彰を受賞して

松本支部 清 住 利 男

先日、開催されました第74回定時総会の式典におきまして、栄えある「長野県土地家屋調査士会長表彰」を授与していただき、身に余る光栄に感謝の気持ちと、身の引き締まる思いでいっぱいであります。誠にありがとうございました。

私は平成17年5月に土地家屋調査士の登録をして、今年で17年の歳月が経ちましたが、今思えばあっという間の17年間であったような気がします。10年間、調査士事務所にお世話になり、実務はある程度経験しておりましたが、いざ調査士として開業し自身の責任において仕事をしていく事になると補助者のころとは違い、判断に迷い悩む事も多く、手探りの中で毎日の業務

を行い、無我夢中で仕事に取り組んできたという実感があります。今後も同じように壁にぶつかる事があると思いますが、決して焦らず、されど驕らず、日々研鑽、努力の気持ちを忘れず、励んでいきたいと思えます。これからも本会や支部の先輩方をはじめ、同じ専門職の仲間として、共に仕事に励む皆さんとの繋がりを大切にしながら、自分の仕事に自信と誇りを持ち、業務に励んで参ります。



令和4年4月20日

会員各位

業務研修部長 松永宏樹

第2回会員研修会の結果報告

令和4年3月18日から令和4年3月27日の期間で実施した第2回会員研修会が終了しました。受講された皆様、大変お疲れ様でした。

皆様のご協力もあり全県で51.7%（183人）の受講率となりました。集計表を添付しましたのでご確認ください。

今回の研修会も新型コロナウイルスの影響により、YouTube を利用した完全オンライン形式での研修となりました。第1回研修会で利用した日調連のe-ラーニングよりも身近だったからでしょうか、ようやく受講率が50%を超えることが出来ました。私個人の思いとしては、大切な研修ですし、オンライン研修の利点として時間的な自由度も上がりますのでさらに多くの会員に見て頂きたいと思います。

今回の課題は、前半を「民事基本法制の見直しと筆界特定制度について」として、民法・不動産登記法・相続土地国庫帰属法でこれから行われる法改正について猪飼会長より講義して頂きました。依頼者から質問されたとき、どのような動きになっているのか説明できるよう今一度資料をご確認ください。

また、後半は、「筆界特定」についての講義でした。こちら猪飼会長に事前をお願いしていた質問に対してご回答いただきました。

猪飼会長におきましては、日常業務や会務でご多忙を極めておられるところ資料作成から収録までお力添えを頂きましたこと心より御礼申し上げます。

皆様よりいただいた本研修会に対するアンケートからは、分り易くてよかったとのご回答を多く頂いております。一方、業務研修部としては、キーワードの表示の方法や画面構成など改善の余地がありました。アンケートで頂いたご意見は次に生かしていきたいと思えます。

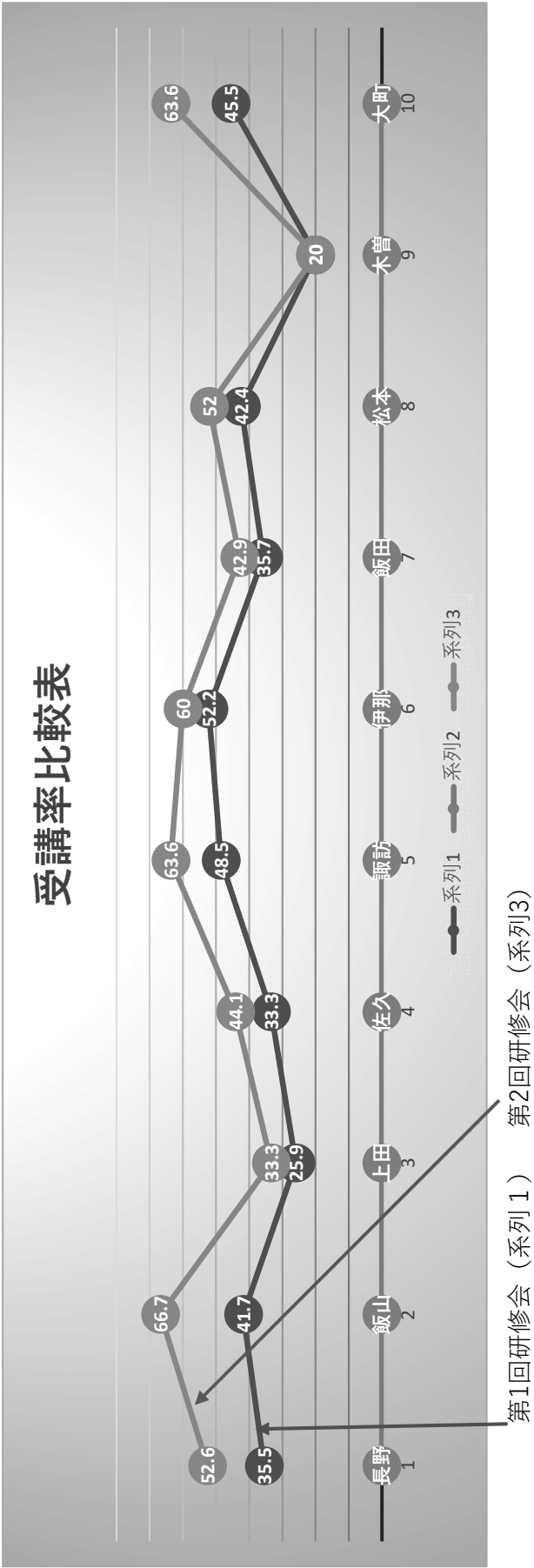
研修後、皆様から寄せられた質問は、本会ホームページに掲載しましたのでご確認ください。

ちなみにキーワードに「4」「5」「6」「6」は本会会館事務局の電話番号である026-232-4566の後半4桁でした。

次回の研修は来年度になりますが、なんとか集合形式で出来ないか模索中です。皆さんとお会い出来る機会を楽しみに次の計画を練りますが、どちらに転んでもなるべく多くの皆様に研修を受けて頂きたいと思えますのでインターネットへの接続等は、なるべく早く整えて頂きますようお願いいたします。

支部	第 2 回	
	受講数	受講割合
長野 (95)	50	52.6
飯山 (12)	8	66.7
上田 (27)	9	33.3
佐久 (34)	15	44.1
諏訪 (33)	21	63.6
伊那 (45)	27	60
飯田 (28)	12	42.9
松本 (64)	33	52
木曽 (5)	1	20
大町 (11)	7	63.6
合計 (354)	183	51.7

支部	第 1 回 (参考)	
	受講数	受講割合
長野 (93)	33	35.5
飯山 (12)	5	41.7
上田 (27)	7	25.9
佐久 (36)	12	33.3
諏訪 (33)	16	48.5
伊那 (46)	24	52.2
飯田 (28)	10	35.7
松本 (66)	28	42.4
木曽 (5)	1	20
大町 (11)	5	45.5
合計 (357)	141	39.5



特別企画

なんでもかんでも座談会

令和4年5月20日 午後1時30分～3時30分

於 長野県土地家屋調査士会館



座 談 会 出 席 者

敬称略

長野支部	山	室	健	三
長野支部	山	口	大	介
上田支部	久	保	智	則
佐久支部	高	山		聡
松本支部	竹	澤	賢	治
松本支部	清	水	敏	男
伊那支部	天	野	貴	信

広報部長	平	林	章
広報担当副会長	片	山	信
広報担当理事	荒	井	伸 介
広報担当理事	品	田	尚 志

(平林) これより、広報部座談会を始めさせていただきます。気楽な形で話をしたいと思います。



まず自己紹介からお願いします。始めに私から、広報部長の平林です。下條村に住んでいて、長野県で一番南に位置する調査士です。

(片山) 広報担当副会長の片山です。出身は川崎ですが、元々、山とかスキーが好きで長野に引っ越してきました。資格を取ってから以降、仕事と遊びを楽しんでいます。

(荒井) 広報担当理事の荒井です。34歳の時に

開業してもうすぐ21年が経とうとしています。このような機会に、普段聞けない様な情報交換が出来ればと思います。

(品田) 広報担当理事兼会報編集委員長の品田です。この座談会は夏号として8月発行予定ですが、特別企画として大々的に載せて行きたいと思いますので、肩肘はらずにお願いいたします。

(久保) 上田支部の久保と申します。日調連の広報部理事を務めさせていただいております。日調連の会報は月一で発行していますが、特別能力があるわけではありませんが、編集長をしております。

(高山) 佐久支部の高山です。事務所は御代田にあります。現在45歳で、仕事を始めて14年目、久保君とは同期です。今日は貴重な機会を楽しみにしております。

(清水) 松本支部の清水です。本会の会合は初めてになりますが、松本支部で理事をしております。コロナの状況下で皆様どう思っているのかお話しをお聞きしたいと思っています。

(竹澤) 松本支部の竹澤です。現在、松本支部の企画部長をやらせていただいております。企画が出来ていない状況で他支部の方の話を楽しみにして来ました。

(天野) 伊那支部の天野です。今年40歳になります。出身は四日市市で、妻が伊那出身で伊那に根を下ろしています。建築士と調査士の二足の草鞋でやらせていただいております。

(山口) 長野支部の山口と申します。まだ開業一年程ですので、このような場でお話出来るか分かりませんが、皆様と話しが出来ればと思います。昨年3月までは長野市役所に勤めており、今年の4月に一年経って他の調査士と共に調査士法人で業務をしております。

(山室) 長野支部の山室健三と申します。現在、政治連盟の幹事長をやらせていただいております。開業は娘が生まれた年で、娘が18歳になりましたので、丁度、18年経ちました。あっという間の18年だった気がします。

(平林) まず、調査士になったきっかけあるいは知ったきっかけを話していただけますか？

(久保) 独立心がありまして、何か自分で仕事をしてみたいなと思っていました。元々、ゼネコンで現場監督をして転勤の多い中で何か一人で出来る仕事を探していたのですが、たまたま叔父が司法書士をやっていて、この仕事を紹介

してもらい、ゼネコンを飛び出して試験に挑戦しました。それまでは調査士を知らませんでした。

(平林) 荒井さんもゼネコンでしたよね？

(荒井) 私もゼネコン時に知り合った先生がいて、自由がきいているなど云うことから、色々な魅力を聞いて資格を取りたいと思いましたが、具体的に何をしているかは知らませんでした。



(山口) 私は市役所時代に資産税課に勤めていた時に、調査士さんと接する機会があって仕事を知りました。何となく挑戦してみようかなと思い勉強を始めた後、うまいこと受かったと云う感じです。当初は資格を取っても一人でやっていける自信がなかったです。色々な縁で、事務所に入れていただきました。

(清水) 私は、トータルステーション使う所にいたので、儲かる仕事だと聞いていました。

(平林) で、どうです？

(清水) 前の仕事よりは良いです。一番良いのは自由が利く事ですかね。でも、一般的な方よりは年収がいいのではないのでしょうか。

(天野) 私は大学卒業後、最初に入ったのが設計事務所で、建築士として何とか幅が広げられないかなと思って



不動産に関する事を一通り知りたいなと思い調査士と併用しています。大きな会社ですと無理かもしれませんが、私の会社は良いですと言う事で、今は先輩調査士に教えていただきながら、少しずつやっています。

(平林) 資格が必要と云う事ではなくて、資格をいくつか加えて、仕事に生かしていけたらと

云う開業ですね。

(山室) 私は製造業にいたのですが、調査士になりたいと云うよりは独立したいと思って、測量会社に入りました。そこで調査士を知り、勉強を始めたのではなくて、まず測量を覚えたくて3年間測量会社にて、その後、調査士をやろうと思い勉強を始めました。8年と年月がかかっていると思いますが、逆にその8年が後は資格さえあれば仕事できるのだと思い、取得後は直ぐに独立しました。結果的には良かったかなと。

(竹澤) 私は平成19年に開業し、その前は建設コンサルタントにいました。主に測量をやったり公共の道路設計に携わったりしていて、田中県政の時に公共事業が大幅に削られて、自分が思っている様な仕事じゃないと思う中で、測量は出来るので、その関連の中でいくらかでも自分の持っているスキルを使えないかと思って調査士を見つけました。登記申請の知識はほとんど無かったです。

(高山) 私は大学卒業してから住宅メーカーに就職しまして、それまでは土地家屋調査士も司法書士も知らなかったですし、弁護士や税理士は聞いていましたが、調査士や司法書士は配属されて知りました。そこは3年で退職し、独立するなら調査士だと思い、測量事務所で働きながら調査士事務所で補助者として勉強して3年位で合格できたのですが、サラリーマンよりは収入になると漠然と思いました。そして、この仕事を始めたのが14年前です。

(平林) 私達の仕事は魅力のある誇れる仕事なんだと思いますね。その様に開業に至ったわけですが、開業当時まず仕事に来るのか苦労したと思うのですが。最初の頃って、どんな活動をしていたのか、お話いただけますか？

(高山) 私は実家が御代田だったので、実家に戻ったのですが、何の繋がりも無いし親が司法書士をやっている



訳でもなかったので、名刺持って配ったり不動産会社廻ったりしていて、そうしたら、入っていた消防団の団長がたまたま御代田町役場の建設課に勤めていて、町の仕事を廻してもらえ事になってから2～3年は食いつないだと言う感じです。

(平林) だと、いきなりなんですね。

(片山) 私は名刺を置いても一件も来なかったですね。家族に申し訳なくて、営業すると言って車で寝てラジオをずっと聞いていました。登録しに行ったら当時の会長が、バブル崩壊した時だから、会社は辞めない方が良いよと言っていたことを思い出しました。仕事がもらえたのは、一人調査士が亡くなってその方の分が来て初めて廻りだしました。

(山口) 私の場合は、4月から法人にしてしまっているので、仕事も個人でもらうと云うよりは法人でもらう感じなので、特別、営業的な事はしていません。話を聞くと、最初、全く知らない所で営業に行っても仕事に繋がらないと聞いたので、まず市役所の知人の所に行って、その知合いの建設会社を紹介してもらって営業に行くくらいでした。その後、市役所の登記関係の知人から仕事を頼まれたりは有りましたね。まあ、まだまだですね。

(清水) 私はいままでの会社で、こんな資格取った人がいるんですよとか言ってもらいましたが、少なかったですね。2～3年こんな状態でしたが、よくやっていたと思います。

(平林) しっかり食べていけるのは何年もかか

りますかね、荒井さんどうです？

（荒井）私は前職の関係で仕事があったと云うか、ゼネコンには6年半位勤めましたが、辞めた後も仕事をもらえていたと云う環境がありました。本当に、ありがたくって、そこからまた人の繋がりが出来てって云う流れだけです。

（平林）以前は宣伝してはいけない時代があったんです。その他に開業当時こんな活動していましたとか、廻って行って困った事とかありませんでしたか？こんな風にしたら良かったかな？とか。

（山室）広報活動ではないのですが、今、無尽をやっていて、7人中5人がいわゆる二世で、親御さんが司法書

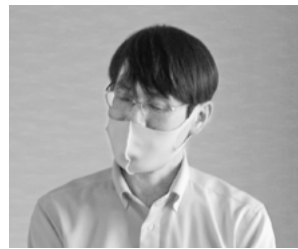


士か調査士だったりして、何も無いのが2人だけです。自分は何も無く出身も高山村だったので、長野市に引越して来て、子供が生まれた時に開業したので、本当に何も無いので、実力と云うより、仕事を取れる自信が無くて、どうしようかな？と思って、違う仕事もやらなくてはならないかなと思い考えたのですが、たまたま長野市の公嘱協会の改革があり、そのため仕事が入りました。その他は測量会社からの委託があって、別の仕事をしないで、今まで順調に来た訳で、特別広報活動をしていませんが、人の繋がりが出来てから、そこからどんどん広がって行きました。

（荒井）ちなみに、山口さんは、今どうされているのですか？

（山口）今ですか？私は4月に登録して、その前年に登録した者と更に一年前に登録した者が合同事務所になっていて、そこにに入れてもらったんですよ。最初は全く仕事が無いので、ただ

のお手伝いで、半年位やっていたのですが、仕事は全く来ないし、これはまずいんじゃないかと思っていました。



そのころ近くの調査士事務所から人が足りなくて困っているので来てくれないかとお話をいただいて、10月からはその事務所に行くようになりました。その時は月いくらと云う感じでお給料みたいでしたね。定額でもらって。あと自分の所に仕事 cameたらそれは自分の物にして良いよと云う事で半年間いたんですが、4月からは私と元の2人とその人の4人で話して法人にしましょうとなりました。法人だと会社なので、月いくらという形で会社から給料をもらっています。

（ 休 憩 ）

（平林）それでは、皆さんに会報についてご意見をお聞きしたいと思います。年2回発行させていただいています、皆さん読んでますかね？えっ。読んでない？久保君は読んでくれますよね？

（久保）はい。連合会報もそうなんですけど、袋も開かないで、そのままと云う人も少くないですね。以前は見なかったですが、編集長になって読むようになりました。恥ずかしながら。

（平林）この中で、必ず見ていると云う方？（誰もいない。）

（平林）では、この中で前号を見た方。2月に発行したやつ。ウワッ！3人？ほとんど読んでいない。

（品田）率直に聞かせてもらえます？読む気にならないと云う事ですか？忙しくてダメって事ですか？

（高山）読もうと思っている内にそのまま。最

後の退会とかの所は読めますけど。

(平林) 多分、皆さん正直に答えているんですよね。私達もそうでした。

(品田) 多分、ここにいる方だけでなく、全会員の事だと思いますよ。

(平林) でも会報に携わってみて、結構、会報って頑張っているんですよね。だから是非読んでいただきたい。関ブロの会合でも話が出たんですけど、他の会報って理事さんのお話とかお知らせとか、そんな事ばかりで、私達の会報はそう云う事も載せますけど、各支部の活動報告であったり、他の県とは違った面で皆さんに読んでいただき易い事を考えているので、もっと読んでいただいて、他の方にも読んでもらうようにお願いします。どうしたら良いのかな？

(品田) ちなみに、毎月来る「土地家屋調査士」は読んでます？

(清水) 気になったところしか読まないです。

(久保) 二期目の広報なんですけど、その前は広報委員で、会報誌の記事を担当する広報委員がいるんですけど、



自分の記事だけ書いて読んでいて。元々、読むことが好きじゃないんです。携わっていると読んで欲しいなとなるのですが、それを強制するのは難しいんじゃないかなと思いますね。何か気になったものがあれば読んでもらうとか、まあ宣伝ですよ。連合会報にも「我が会」と云う連載があって、前回は長野会の当番でした。各会の会報からピックアップしていて、たまに長野会も紹介されて、結構気になる記事もあって、情報得るには面白いと思いますが、時間が中々無いと云う事もあると思います。

(平林) 例えば、こんな記事があったら読むとか。何か思いつく事ってあります？ちなみに、今回は多分読んでいただけたと思いますよ。皆さんの記事が載りますからね。広報部は会報だけでなく、グッズの配布だとか、無料の相談会とかもしていますけど、ちょっとここで、荒井さんの方からこんな活動してますよと云う報告をしてもらいます。

(荒井) お手元にある黄色の「マンガでわかる土地家屋調査士成長物語」(後記31頁参照)ですが、これを通して活動をして調査士に興味を持ってもらおうと思っています。今後、こういった所で使って行きたいとか、また、仕事を通して配布して行きたいとかあればお願いします。広報部は会報ながのを年2回発行しているのですが、その他に全国無料相談会で去年は長野と松本で行われました。これも例年にならって各支部を通して活動して行こうと。後は会員名簿を毎年作成配布しています。HPを通して、時代にあったものを、皆さんの意見を是非聞かせていただいて、調査士会が気づいていない事を教えてもらえばなと思いますのでお願いします。

(品田) 究極的に広報として、自分の職業を言った時に直ぐ分ってくれる、土地家屋調査士？と聞き返される時が多いと思うんですよ。それを打破したい。そのためには若年層から開拓したりとか、全く一般の人に知ってもらいと模索はしているんですけど、なかなか広がっていかないと思っているけど。

(清水) 以前、問題になってテレビに出てなくなったんですけど、芸能人の徳井君が映画みたいなのに出ましたよね。

(平林) あれって黒木瞳さんの？ドラマの事だよ？

(清水) そう云った環境ってどうなんでしょうかね？

(平林) あれは日調連でやったから。

(久保) 丁度、震災の年ですよ。それがネックになって、あんまり浸透しなかったけど。

(清水) 弁護士って小学生でも理解できるじゃないですか。ただ司法書士って理解できないと思うんですよね。



調査士ももちろんですけど。多分、弁護士って何となく題材とした漫画とかテレビドラマとか沢山あって、調査士を題材としたものってなかなかないですよ。なかなか難しいと思うんですけど。最近、ラジオで司法書士ってCM持っているじゃないですか。過払い金とか。たしか、ラジオCMってそんなに費用がかからないと思うんですよね。広報活動として耳に残るかなと。メディアを上手にを使って、ローカルのラジオ放送を使って、何かやってみたら反響があるかもしれない。

(平林) そうですね。広報活動をしたからと云って、すぐに繋がるわけではないですよ。継続していく事で将来に繋がって行く事ってあると思うので、やはり何をするかって大事だと思うんですけど。

(久保) メディアを使った広報は有効だと思うんですよ。ただ、費用面が一番ネックなんですよ。実際、全国の会を見てもやっているところでは、たまたま土地家屋調査士が番組を持っていたんですよ。山形かな？秋田だったかな？そう云うのを続けられれば、頭に浸透するかな。今、連合会でyoutube動画を制作しているんですけど、それをどの位の人が興味を持って見に行ってくれるか。今回のタレントさんは「なぎ

ら健壺」さんだったんですけど、見に行く人が何人いるかとか。

(平林) 現場で測っている所を見た子供達が親に言っても、「調査士」なんて言葉が出て来ないと思うんですよね。何年か前に行った楽市楽座でTS使った宝探しをやっていたんですけど、すごく賑わってました。てんてこ舞いでやっていて、すごく興味持ってくれてました。出来るだけ、目に触れる機会にしていきたいと思います。

(平林) どうでしょう。あと時間も無いです。この際、言っておきたい事とかありますか？じゃあ簡単で良いですから、今日の感想を一言ずつ。

(久保) 開業のきっかけから土地家屋調査士を思い返しながら、広報を通してどんな事をやったらと思いながら聞いていたんですけど、なかなか広報って難しいなと思いました。自分が始めた頃ですね、どう云う風にやっていたかな、どう云う風に仕事をもらっていたかなと久しぶりに思い返して、これから始める人達が苦労しない様に、土地家屋調査士の知名度を上げる方法が何かないかな？とずっと考えました。ですが思い浮かばないですね。難しいですね。何か良い意見があればと思いますが。本当に広報って難しいと思います。それが実感です。本当に感想になっちゃいました。

(山室) 今もやられている広報は、新しい会員を増やす広報と調査士を社会に打ち出す広報と二つあると思うんです。それぞれ分け、調査士を増やす広報は収入が高いとか良い事を並べて確かにやりがいのある仕事だと。業務をやっていて思うんですけど、銀行の融資の方でさえ、調査士が浸透していない。何をやっているのか、調査士と云うロゴを目と耳とで植え付ける。例

えば、看板を立てるとか市役所にお願いするか、ラジオだって短いスパンで出してもらえば、耳から入って来る。

(久保) 継続的にやることですね。

(品田) 先日、野球の試合のバックネットに「土地家屋調査士」ってやったのは、どうだったんでしょうか？

(久保) BS放送で4県でやって、200万位かかったとか。会員一人一人が少しずつ出したとか。割と単発でしたね。一試合だけでしたね。社会事業部の話になるのだけれども、啓蒙活動の一環として、中学生の職場体験で、学校からこう云う職場がありますよで、親にたどり着いて、そこだけじゃなくて毎年やると今年は無いんですか？と言って来て、卒業生の中から子供達のために来てくれないかとか、そう云う中で話しに行くと、親もいるし先生や生徒もいるし、それを継続して行くのが大事だなと思います。次の年、次の年と重なって行くと思います。

(平林) でも本当に継続していく事は大事ですね、理解してくれている所は来年もお願いしますと云われてそれに答えて継続しますけど。あと短い文言でも、常に目や耳に入る方法を活用できれば、より調査士をアピール出来ると思います。

(高山) 5,6年前くらいに九州の調査士会？熊本ですか。ポロシャツやジャンパーを買って着ていました。今は、サイズ変わって着てないんですけど、あれだと現場でも役所でも何も言わなくても調査士が来たと思われたので、良いのかなと。結構、着ていた時は言われたんで。最近、着てないんですけど。あっても良いかなと。

(平林) 我が会としてはベストがあるんですけど、イベントの時しか着てないので、皆さんは知らないかもしれないですね。

(清水) メディアだったら、ラジオを使った宣伝とか、ちょっとしたラジオの質問コーナーとか、住宅メーカーがやっていたのを耳にしました。グッズで言えば、今、大体、携帯持っていますけど、例えば、子供とかの携帯に貼れるちょっとしたシールとか、それでも宣伝になるし、どこまで広がるかは分かりませんが、どこでも持ち歩くので、広めていくには面白いかなと。

(平林) 私も、シールを考えたんですけど、つける所がないので、どうしようかなと。それもありますね。

(竹澤) 国道とか走っていて、行政書士は看板が出てたりして、ああ云うのも悪くないんですけど、土地家屋調査士自体が理解されていない、受験者数も減っていますし、そこら辺も少し取り上げていかないといけないんじゃないかなと。数年前に比べると、測量学校も減っているので、業界自体、人気がないかなと。



調査士だけでなく測量自体が。資格を知ってもらう方法とか、どうしたらいいのか、今、浮かばないですけど、それをやらないと繋がらないんじゃないかなと。ただ、儲かりますよとかを前面に押し出して行くのではなくて、やりがいだとか楽しみだとかを出していかないと、危険だなと思います。

(天野) 車に貼るステッカーとか、サッカーのJリーグみたいなカッコイイのとか、他には、子供が防犯ブザーをもらって来たんですけど、そこに土地家屋調査士とか。子供から親に繋がるようなグッズはどうかなと。

(平林) そうですね。子供から行くのも良いですね。

(山口) 行政書士会がやっている様なテレビとかラジオとかが良いのでしょうけど、そうなると県単位で会員数が全然ちがうので、多分予算の規模が違うんだと思いますけど。例えば、長野工業とか高専とかに働きかけるとか、もうやられているかと思いますが、前の職場で、中学校の職場体験に行ったんですけど、毎年、受け入れがあって、後は、インターンシップみたいなので同じだと思いますが、受け入れてくれる人がいるかどうかですけど、一般ではなくて、そちらの分野の学生に対する働きかけを増やして行くと言うピンポイントにやるのも良いかなと思います。

(山室) 先ほども言ったとおり、目と耳とで云うと、まず目だと行政のカウンターに何か置かせてもらおうとか、政連ですと議員に促すとか。

(平林) それでは、大分、時間も過ぎてしまって申し訳なかったのですが、本日はありがとうございました。最後に片山副会長から、今日の総評を。

(片山) まず、調査士と云う職業を選んだ皆さん、とてもラッキーだったと思います。今、弁護士や司法書士でも



食えない時代に、我々は食えるじゃないですか。なかなか無いと思うんですよ。諏訪支部で、私は開業28年やってますが、辞めた方は2人しかいないですから。皆、ちゃんと食べてやってますからね。まあ、知名度が無いと言いますが、逆に人によっては、あんまり宣伝しない方が良いんだとか。でも、資格自体が無くなるのが一番怖いことで、逆に測量士とかが参入してくるとかが怖くて、知名度を上げるよりも総数を増やして行くことが広報なんじゃないかなと。そんな中で、今日、色々な良い意見が聞けたし、会報の存在自体を考える機会にもなりました。貴重な意見をありがとうございました。

(平林) では、これで終了したいと思います。ありがとうございました。



支部だより

長野支部活動報告

長野支部 大 内 一 之

長野支部の活動報告について原稿依頼が来ましたが、私が支部理事（総務担当）に就任してから支部研修会、支部合同旅行また毎年参加している長野高専での青少年科学の祭典（キッズサイエンス）や法務局主催の相談会等も新型コロナウイルス感染症の流行によりことごとく中止、延期となってしまう、あまり活動が出来ずにきました。

しかしコロナだからと言って活動をしていない訳ではなく、またコロナ禍だからこそその活動、情報発信をしています。先月開催された支部総

会は試験的ですが、Zoomのライブ配信にて会場開催されているものを各自web上で視聴出来ました。また昨年9月の集合研修は中止となてしまいましたがその代替えとしてYouTube動画にてオンライン研修を行いました。各自都合の良い時に都合の良い場所で視聴出来て非接触でのオンライン研修はこれからウィズコロナ時代の主流になるのではないのでしょうか。

早くこの疫病が収束して研修会や懇親会が接触型にて開催出来る事を祈念いたしまして活動報告とさせていただきます。

調査士3年目

佐久支部 市 瀬 昌 伸

長いコロナ禍、皆様如何お過ごしでしょうか。

私は、安倍元総理大臣が頑なに使い続けたあの小さな「アベノマスク」が世間に配布されニュースで賑わいを見せていた頃、静かに調査士登録をしました。

研修会・支部会など最少人数での開催が続ぎ、主な仕事場も支部の東の外れの山の中と所属する支部の先輩調査士の方々の中でも私の存

在を知る方は未だに少ないと思います。

希少動物のような存在ですが、なんとか3年目の春を迎えました。

今思えば、調査士試験に合格した頃、「ロボティックを使いこなせば、気ままに独り測量をしながら自分のペースでボチボチ仕事をして行けるだろう。」と甘い考えをしていました。

しかし、いざ開業すると補助者の居ない独り

測量では、仕事量やその精度に限界を早々に感じてきました。

さらにサラリーマンには無縁の確定申告などの税務処理…。

様々な点で一人でこなしていく事の難しさを痛感しました。

建築会社での仕事を抱えていた妻に相談したところ、家事を手伝う事を条件に勤務日数を減らし補助者として私の仕事をサポートして貰う事になりました。

また、解らない事や初めての事案などもまだまだ数多く、その都度、師匠である調査士の先

生に時間を割いていただき教えて貰っています。

周りの人の協力に感謝を感じる2年、なんとか依頼をこなせる様になってきたかなと思います。

今後も先輩調査士の皆様のご指導・ご鞭撻を頂きながら健康に留意して、地域社会に末永く貢献出来るような調査士を目指したいと思います。

掃除機・炊飯器・洗濯機と今では大抵の家電を使いこなせる様になりました。

コロナ禍での支部総会

飯田支部長 金 田 政 孝

毎年、桜の花が咲き乱れる頃ともなれば、来るべき支部総会に向けて準備に追われる時期となる訳ですが、このコロナ禍においては、県下に10個ある各支部とも総会の開催については苦慮されたものと推察します。

ちなみに近年の飯田支部の定時総会について振り返ってみれば、2年前の令和2年の定時総会は、新型コロナウイルス感染症の感染者数の増加を受けて、人が集まることに対して神経質となっていた世情もあり、集合形式での開催は断念せざるを得ませんでした。ただ、書面決議により総会決議を成立させることは適当ではないと考えましたので、支部会員に対して委任状の提出をお願いしたところ、役員を除く全支部会員から委任状が提出され、形式的には総会決議を成立させることができました。

また、昨年、令和3年の定時総会は支部役員の改選期に当たることから、支部会員に参集を求めて、通常の形式で支部総会を行うことはできましたが、当然、来賓をお招きすることも無く、通常なら楽しいひと時となるはずの総会終了後の懇親会も設定しない中での定時総会でした。

連日のニュース報道による地元における新型コロナウイルス感染症の感染者数に一喜一憂する中、今年の定時総会はどのようにすべきかについて、役員の間で協議を重ねてきましたが、自粛、自粛ばかりでは前に進めないということで、通常どおり、支部会員の参集を求めて開催することとしました。来賓の方々をお招きすることは断念しましたが、総会終了後の懇親会を行うという設定で開催通知を出したところ、ほ

とんどの支部会員が総会会場に参集してくれました。とは言え、執行部としては新型コロナウイルス感染症対策については万全を期す必要がありましたので、通常行われる手指の消毒等の備えや人の密集を避ける会場の設営は当然のことながら、当日、総会会場での受付の際に、予め用意しておいた新型コロナウイルスに対する抗原検査キットを全会員に配布し、総会会場への入室前に抗原検査をしてもらいました。執行部としては、陽性の判定が出た会員にはその場でお帰り頂く覚悟でいたところ、幸いなことに来場した全会員が陰性の判定となり、そのまま総会に参加してもらい、第73回飯田支部定時総会における総会決議を成立させることができました。

総会終了後、場所を変えて懇親会をスタートさせましたが、同じ空間にいる人間がコロナウ

イルスに感染していないことが形式的に確認できた…という安心感からなのか、総会の議事の最中はもちろん、懇親会の席ではひときわりラックスして楽しんでいる様子がかがえました。支部会員が一堂に会しての懇親会も3年ぶりのことですが、自分自身の感覚も含めて、鬱積した気分も少しは晴れたひと時ではなかったか思います。

何れにしても、新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年の支部活動も大きな制約を受けている実態がある中、今年の支部総会において、今後の活動計画が承認され、それに対する予算的な裏打ちもされた訳ですから、社会全体がこの災厄から脱するとともに、通常の支部活動が何の支障もなく行えるようになる日が一日も早く訪れてくれることを願うばかりです。

支部だより

大町支部 鈴木良介

新緑の候、会員の皆様におかれましてはますますご清祥のことと存じます。

さて、支部だよりの原稿依頼がありました。新年度を迎え大町支部としての活動はこれからになりますが、本年度事業で3年ぶりでしょうか、研修も兼ねて支部旅行を計画しています（この号が発刊するときには、すでに実行済ですが）。

このご時世ネタがままならず、勝手ながらつつらと自身の近況を書いていこうと思います。普通なことなのですが、我が家では只今猫を飼っています。2年前に妻が貰ってきたのです。

私は動物を飼うことに経験がなかったので反対もしましたが、事情もあり受け入れることにしました。猫って、クールで人になつかないイメージしか持っていなかったのですが、我が家の猫、チックン（ニックネーム）は人なつこく甘えん坊の雄でした。私のデスクには、猫専用ベッドを置いてあり、私が横で忙しくしていても、昼寝をしていますし、来客のため事務所のチャイムが鳴ると一旦逃げてしまいますが、しばらくして「いらっしゃいませ」と言っているのかご挨拶に顔を出します。まあ、招き猫にならずとも健康で元気にいてくれたらいいなと自身と重

ねながら、愛猫紹介を終わります。

この仕事をしていると、不動産会社から相談があったりします。某県法人支店長さんとのメールのやり取りで、記憶がある名前が出てくる訳ですよ。支店長さんに尋ねたところ、やはり高校時代の部活の先輩であることがわかりました。法人旅行部門で海外赴任をしていたそうですが、去年から流行病の影響もあって、不動産部門にも配属されたそうです。大北地域での案件もあり、実に33年ぶりですか打ち合わせも兼ねて飲食を共にすることができました。先輩は、昔からアクティブであり海外を主流とする人なので一生会えない方だなと思い込んでいましたし、非常に可愛がって頂きました。調査士を選んで再び会うことが叶いましたので、案件についてはスムーズに進む様お手伝いをしたいと思っています。

皆様は、多彩な趣味をお持ちですよね。羨ましい限り、私は月並みですがゴルフが好きです。

TV観戦をして好きな選手の応援、イメージ練習と称して家庭用ゲームもしますが、やはり現場でプレーすることを楽しみにしています。一喜一憂しながらクラブを振る、距離を誤れば調査士かどうか疑われる（妻に）、季節ごとの風景を観ながら「お茶け」を頂く、完全なレジャーとして確立しています。本年は、関プロゴルフ大会の当番会が長野会と伺っています。過去2年は中止せざるを得ない状況でありましたので、是非長野の地で開催できれば良いですね。

結びに、この原稿は長野会の定時総会が開催された日に作成しました。総会の中で一緒にゴルフをプレーした先生の訃報を聞き悲しい気分でもあります。ですが乗り越え本年度のスタート。猪飼会長をはじめとする執行部、事務局、そして会員の皆様には健康に留意して頂き、当会発展のためご活躍されますことを祈念申し上げます。まとまりがない雑文にて失礼します。

**政治連盟に加入しましょう
政治連盟は調査士制度発展のために
力を尽くします**

長野県土地家屋調査士政治連盟

会長 松 本 誠 吾
〒380-0872 長野市大字南長野妻科399番地2
電 話 026-232-4566
F A X 026-232-4601

令和4年度長野地方法務局管内当初人事異動

退 職

	次長	大 野 正 雄
松本支局	統括登記官	篠 崎 登
佐久支局	統括登記官	藤 沢 政 法
総務課	一般職員	濱 地 沙也加
不動産登記部門	一般職員	川 井 亨
松本支局	一般職員	池 井 達 也

(以上3月31日付け)

異 動

法務省人権擁護局	総括補佐官	← 総務課	課長	島 津 直 也
新潟地方法務局村上支局	支局長	← 総務課	課長補佐	大久保 和 弘
会計課	主計係長	← 総務課	庶務係長	篠 原 剛
訟務部門	一般職員	← 総務課	一般職員	渡 辺 康太郎
不動産登記部門	表示登記専門官	← 会計課	主計係長	斎 藤 一 路
諏訪支局登記部門	登記官	← 会計課	用度係長	矢 花 行 正
法人登記部門	一般職員	← 会計課	一般職員	丸 山 友里亜
飯山支局	一般職員	← 会計課	一般職員	高 橋 宏 弥
岐阜地方法務局不動産登記部門	首席登記官	← 不動産登記部門	首席登記官	奥 村 仁
さいたま地方法務局不動産登記部門	次席登記官	← 不動産登記部門	次席登記官	伊 藤 昌 弘
横浜地方法務局相模原支局登記部門	統括登記官	← 不動産登記部門	統括登記官	高 畑 健 司
諏訪支局登記部門	統括登記官	← 不動産登記部門	統括登記官	江 本 雅 人
松本支局登記部門	統括登記官	← 不動産登記部門	総括表示登記専門官	小 坂 正 則
松本支局登記部門	登記官	← 不動産登記部門	登記官	高 樋 徹
新潟地方法務局上越支局登記部門	統括登記官	← 不動産登記部門	表示登記専門官	山 岸 克 敏
静岡地方法務局掛川支局	統括登記官	← 不動産登記部門	表示登記専門官	林 俊 之
登記情報システム管理官室	登記官	← 不動産登記部門	表示登記専門官	浅 賀 俊 彦
人権擁護課	人権擁護係長	← 不動産登記部門	表示登記専門官	倉 石 陽 子
前橋地方法務局高崎支局登記部門	統括登記官	← 不動産登記部門	総務登記官	奈 良 峰 明
訟務部門	訟務官	← 不動産登記部門	登記官	塩 川 拓 也
飯山支局	総務係長	← 不動産登記部門	登記相談官	高 橋 哲 哉

佐久支局総務課	一般職員	←	不動産登記部門	一般職員	相 澤 誠 也
総務課	一般職員	←	不動産登記部門	一般職員	齋 藤 大 輝
松本支局総務課	一般職員	←	不動産登記部門	一般職員	小 林 陽 和
横浜地方方法務局法人登記部門	首席登記官	←	法人登記部門	首席登記官	山 森 航 太
戸籍課	国籍係長	←	法人登記部門	登記専門職	竹 内 陽 平
不動産登記部門	一般職員	←	法人登記部門	一般職員	金 井 美 来
佐久支局	支局長	←	戸籍課	課長	中 山 仁
不動産登記部門	登記相談官	←	戸籍課	国籍係長	渡 辺 裕 幸
さいたま地方方法務局東松山支局	支局長	←	供託課	課長	田 中 恵 美
新潟地方方法務局長岡支局	統括登記官	←	供託課	遺言書保管官	峯 村 佳 樹
供託課	遺言書保管官	←	訟務部門	訟務官	茂 木 陽 香
法務省訟務局訟務企画課	訟務調査官室係員	←	訟務部門	一般職員	須 江 早紀子
法人登記部門	一般職員	←	訟務部門	一般職員	大久保 俊 貴
戸籍課	課長	←	人権擁護課	課長	平 田 圭 寿
不動産登記部門	表示登記専門官	←	人権擁護課	人権擁護係長	上 原 等
不動産登記部門	一般職員	←	人権擁護課	一般職員	羽 田 妃奈乃
不動産登記部門	表示登記専門官	←	登記情報システム管理官室	登記官	新 名 遭 春
那覇地方方法務局不動産登記部門	統括登記官	←	松本支局総務課	課長	渡 名 喜幹夫
静岡地方方法務局下田支局	統括登記官	←	松本支局総務課	民事専門官遺言書保管官	中 野 佳 夫
木曽支局	一般職員	←	松本支局総務課	一般職員	笹 井 湧 介
前橋地方方法務局供託課	課長	←	松本支局登記部門	統括登記官	森 田 勝 人
大町支局	登記官	←	松本支局登記部門	登記官	安 藤 久仁子
京都地方方法務局舞鶴支局	登記官	←	松本支局登記部門	登記官	大 内 邦 武
飯田支局	登記官	←	松本支局登記部門	登記官	澤 田 昌 宏
諏訪支局総務課	一般職員	←	松本支局登記部門	一般職員	忠 地 朱 里
松本支局総務課	遺言書保管官・民事専門官	←	上田支局	支局長補佐遺言書保管官	城 下 直 久
佐久支局登記部門	統括登記官	←	上田支局	統括登記官	福 島 美 加
上田支局	遺言書保管官・支局長補佐	←	上田支局	表示登記専門官	倉 石 慎 一
上田支局	表示登記専門官	←	上田支局	登記官	佐 古 征 俊
人権擁護課	一般職員	←	上田支局	一般職員	近 藤 俊 作
会計課	一般職員	←	上田支局	一般職員	片 桐 広 喜
さいたま地方方法務局所沢支局	支局長	←	飯田支局	支局長	宮 本 昌 平

飯田支局	登記官	←	飯田支局	支局長補佐	竹 中 哲 哉
伊那支局	登記官	←	飯田支局	登記官	矢 澤 明 文
伊那支局	登記官	←	飯田支局	登記官	桃 澤 俊 彦
飯田支局	支局長補佐	←	飯田支局	登記官	田 中 元一郎
松本支局登記部門	登記官	←	飯田支局	登記官	田 村 隆 志
東京法務局西多摩支局登記部門	統括登記官	←	諏訪支局総務課	課長	渡 邊 充
伊那支局	供託専門職	←	諏訪支局総務課	供託専門職	橋 本 一 史
甲府地方方法務局韮崎出張所	統括登記官(所長)	←	諏訪支局登記部門	統括登記官	長 田 和 好
佐久支局登記部門	統括登記官	←	諏訪支局登記部門	統括登記官	木 内 覚
甲府地方方法務局吉田出張所	統括登記官(所長)	←	諏訪支局登記部門	統括登記官	小 林 正 人
飯田支局	登記官	←	諏訪支局登記部門	登記官	横 井 英 樹
飯田支局	登記官	←	諏訪支局登記部門	登記官	山 崎 仁
新潟地方方法務局新発田支局	支局長	←	伊那支局	支局長	鈴 木 次 男
木曽支局	統括登記官	←	伊那支局	統括登記官	大 野 千 秋
木曽支局	登記官	←	伊那支局	登記官	藤 澤 晃
諏訪支局登記部門	登記官	←	伊那支局	登記官	清 水 俊 一
総務課	一般職員	←	伊那支局	一般職員	春 日 亜 聖音
甲府地方方法務局大月支局	支局長	←	大町支局	統括登記官	川 口 一 弘
不動産登記部門	登記官	←	大町支局	登記官	川 村 直 紀
新潟地方方法務局柏崎支局	支局長	←	飯山支局	支局長	関 弘 規
会計課	用度係長	←	飯山支局	総務係長	滝 澤 高太郎
会計課	一般職員	←	飯山支局	一般職員	宮 本 幸 弥
新潟地方方法務局上越支局	支局長	←	佐久支局	支局長	神 林 義 明
訟務部門	一般職員	←	佐久支局総務課	一般職員	由 井 位
松本支局登記部門	統括登記官	←	佐久支局登記部門	統括登記官	渡 辺 郁 裕
松本支局登記部門	一般職員	←	佐久支局登記部門	一般職員	小 禄 啓 太
上田支局	登記相談官	←	木曽支局	総務係長	大 山 和 馬
諏訪支局登記部門	統括登記官	←	木曽支局	統括登記官	高 松 洋 子
不動産登記部門	表示登記専門官	←	木曽支局	登記官	三 瀬 智 啓
木曽支局	総務係長	←	木曽支局	登記専門職	水 落 康 孝
	次長	←	長崎	次長	杉 本 正 樹
総務課	課長	←	大阪法務局総務部会計課	課長	松 田 勝 也

総務課	課長補佐	← 札幌法務局人権擁護部 人権擁護専門官	平 松 由紀子
総務課	庶務係長	← さいたま地方法務局不動産登記部門 登記官	鈴 木 仁
不動産登記部門	首席登記官	← 名古屋法務局訟務部 訟務管理官	伊 藤 祐 一
不動産登記部門	次席登記官	← 宇都宮地方法務局不動産登記部門 総括表示登記専門官	山 崎 憲 一
不動産登記部門	統括登記官	← 静岡地方法務局浜松支局総務課 課長	青 木 稔 典
不動産登記部門	統括登記官	← 新潟地方法務局上越支局登記部門 統括登記官	関 審
不動産登記部門	総括表示登記専門官	← 横浜地方法務局相模原支局登記部門 統括登記官	和 田 政 博
不動産登記部門	総務登記官	← さいたま地方法務局久喜支局総務課 遺言書保管官	清 水 勇 二
不動産登記部門	一般職員	← 前橋地方法務局不動産登記部門 一般職員	鈴 木 一 樹
法人登記部門	首席登記官	← さいたま地方法務局不動産登記部門 次席登記官	中 村 修
供託課	課長	← 東京法務局人権擁護部 人権擁護専門官	大 西 有美子
人権擁護課	課長	← 新潟地方法務局不動産登記部門 統括登記官	神 津 哲 也
松本支局総務課	課長	← 金沢地方法務局総務課 人事係長	杉 本 博 明
上田支局	統括登記官	← 前橋地方法務局高崎支局登記部門 統括登記官	金 井 裕 子
上田支局	一般職員	← 宇都宮地方法務局不動産登記部門 一般職員	松 田 魁 人
飯田支局	支局長	← 静岡地方法務局戸籍課 課長	太 田 忠
諏訪支局総務課	課長	← 新潟地方法務局新津支局総務課 課長	小 池 実
諏訪支局登記部門	統括登記官	← 甲府地方法務局供託課 遺言書保管官	吉 田 邦 子
伊那支局	支局長	← 横浜地方法務局登記情報システム管理官室 システム管理官	田 中 明
伊那支局	統括登記官	← 甲府地方法務局吉田出張所 統括登記官（所長）	高 橋 眞 美
大町支局	統括登記官	← 金沢地方法務局総務課 課長補佐	篠 田 英 明
飯山支局	支局長	← 新潟地方法務局佐渡支局 統括登記官	渡 邊 寿

（以上4月1日付け）

採 用

不動産登記部門	坂 野 太 郎
松本・登記	飯 田 基 寛
松本・登記	濱 杏 里 咲
上田支局	上 野 佳 那
飯田支局	中 平 大来夢
飯山支局	中 村 椎 奈
佐久・登記	荒 川 祥 輝

（以上4月1日付け）

GROWING STORY マンガでわかる「土地家屋調査士成長物語」















土地家屋調査士になるには？

法務大臣や国土交通大臣が土地家屋調査士試験を合格した者に授け、国土交通大臣が登録を命ずる国家試験です。

試験に関する情報はこちらから
[法務省・土地家屋調査士試験のページ](#)





お問い合わせ


日本土地家屋調査士会連合会
日本土地家屋調査士会連合会 代表理事 佐々木 孝一

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 千代田ビルディング5F
 TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
 E-MAIL: info@jlsa.or.jp




各部会からの報告

業務研修部より

業務研修部長 松 永 宏 樹

先日は、総会お疲れ様でした。

大勢の方のご出席があり、緊張する発表の場となりましたが、それ以上に、久しぶりに皆様とお行き会い出来、うれしい場となりました。

本年度も業務研修部では、2回の会員研修会を予定しています。世の中がコロナ前の生活に戻ろうとする風潮を感じますが、会の規定を遵守しつつも臨機応変に、集合かオンラインの研修方式を検討していきたいと思っています。

それ以外にも、数年ぶりの新人研修や年次研修もあります。年次研修は、本年度は北信地区が対象になります。昨年からはまった研修です

が、会員の皆様は、研修を受ける義務があり、受けない場合はペナルティもあります。近くなりましたらご連絡いたしますので、忘れないよう予定してください。

また、これから本格的に始動しますが、土地建物実地調査要領が改訂されることになっており、業務研修部と法務局で協議することが決まっています。

これ以外にも、ほぼ毎日、多方面から寄せられる依頼があり、業務研修部一同溺れる寸前ですが頑張っていりますので、宜しくお願い致します。



詰将棋

第38回



※解答は59ページにて掲載

(長野支部 北 原 匡 尚)

【第1図は初期局面】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王						歩	飛	王	金	一
士								王		二
三						歩	桂	歩		三
四									馬	四
五						桂				五
六										六
七										七
八										八
九										九

▲ 先手 飛二銀二

編集後記

会報ながの編集長 品田尚志

— 59 —



KAIHO NAGANO KAIHO NAGANO